

令和3年度 事業計画書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット

今年度の目標

森と川の恵みが有明海の豊かさを支えていることを学習する活動

(SDGs 該当目標 (14, 15) 森～川～海を結ぶ自然学習及び人的交流)

東よか干潟のシギチドリ日本一、ムツゴロウなどの独特な生態系、日本一の生産量を誇る海苔などの有明海の豊かさと恵みは、筑後川等の河川から供給される栄養塩と火山性の泥に含まれる豊かなミネラルに支えられています。東よか干潟及び干潟に隣接するビジターセンター「ひがさす」をフィールドに、森と海のつながりの体験学習会を行うことにより有明海ぐるりんネットが活動目的としている「次世代に有明海の魅力と価値を継承する」ことが出来ると確信しています。また、これまでと同様に有明海沿岸域の自然・文化・産業・観光等のテーマについて、その分野の専門家から話を聞く例会や交流会を開催し、有明海沿岸域に関する情報を収集分析し、会員のみならず、行政、市民団体との交流の輪を広げていきます。

①有明海の魅力を探り、広報する活動

※定例会及び出張交流会

定例会：隔月1回（奇数月第2木曜日）基調講話と討議、出張例会：未定

※ぐるりんネット東よか干潟交流塾+ひがさすの開催

一般市民向け教養講座：隔月1回（偶数月第4土曜日）基調講演と意見交換会

②有明海の新なる魅力創生に寄与する活動

※牡蠣礁復活竹切り作業・竹立て作業

有明海の水環境改善に有効な牡蠣礁復活を目指して、中流域で厄介者となっている竹を切って有明海干潟に立て込む作業を行なう

※干潟よか公園内の樹木に名札をつける

公園内の樹木、「九州ふるさとの森」の樹木について専門家に学び、樹木に名札をつける。

親子10組程度募集

※森と海のつながりを学習するワークショップ

- 日本一の飛来数を誇る東よか干潟に飛来する水鳥について学ぶ。
- 森が生み出す栄養塩と火山灰に由来する干潟の泥が有明海の豊かさの源である事を学ぶ。
- 公園内の樹木を用いたロープクライミング、ブランコ、ハンモック等の遊びを通して森の楽しさを体感したり、木の実などを用いた飾りの作成を通して楽しさを体験する。

③情報発信

※公式サイト充実

※公式サイトを有効に使った小冊子等制作検討

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動にかかる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者対象の範囲及び人数	支出額 (千円)
①有明海に関連した環境教育及び生涯教育に関する事業	有明海ぐるりんネット 通常定例会	原則として隔月1回 (第2木曜)	MIZ・P-CSR 研究所 佐賀市民 活動プラザ	6	会員 20 県内・県外 (関係者)	80
	出張定例会	未定		5		
	東よか干潟ビジターセ ンター「ひがさす」 コラボ 干潟交流塾	隔月1回 (第4土曜)	東よか干潟 ビジターセ ンター	6	県内・県外 20名程度	
②有明海沿岸域の地域連携及び地域づくりに関連する事業	干潟よか公園内の 樹木調査と樹木名札付 け作業	11月14日 (日)	東与賀町 干潟よか公 園	5	県内・県外 (不特定) 20名程度	50
	森と海の繋がりを学習 するワークショップ	11月21日 (日)	東よか干潟 ビジター センター	15	県内・県外 (不特定) 各20名程度	80
	カキ礁復元 竹切り出し作業 嘉瀬川交流軸 ぐるりんネット共催	6月予定	佐賀市 水ものがた り館周辺	15	県内、県外 (不特定)	20
	カキ礁復元 竹立て作業 嘉瀬川交流軸 ぐるりんネット共催	8月予定	佐賀県 有明海 海域	15	県内、県外 (不特定)	50
③有明海及び有明海沿岸域の生活、文化、観光等の向上、振興に関する事業	公式サイト有効活用 リーフレット制作	4月～	佐賀県 福岡県	5	国内外 (不特定)	50
	公式サイト更新作業	4月～		3		50